

有明海沿岸道路「荒尾道路」が着工へ 来月 29 日に着工式、渋滞緩和や防災機能強化に期待

国交省九州地方整備局有明海沿岸国道事務所と熊本県などは 7 日、有明海沿岸道路の一部を構成する国道 208 号「荒尾道路」（熊本県荒尾市海陽町～荒尾、延長 2.2 キロ）の工事に着手すると発表した。11 月 29 日午後 3 時から、荒尾総合文化センター（同市荒尾）で関係者らによる着工式が開催される。

荒尾道路は、自動車専用道路に相当する第 1 種 3 級（2 車線、幅員 12 メートル）の高規格道路。現道の国道 208 号で発生している慢性的な交通渋滞の緩和や事故リスクの低減をはじめ、速達性の向上による人流・物流の活性化、観光振興などが期待されている。同区間は 2023 年度（令和 5 年度）に事業化され、これまで測量設計や用地買収が進められてきた。現在整備中の「三池港 IC 連絡路」（延長 2.7 キロ）と接続することで、大雨による冠水頻発箇所や土砂災害危険箇所を回避する迂回路としての役割を果たし、洪水や高潮といった災害発生時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築を目指す。

11 月 29 日の着工式は、有明海沿岸国道事務所、熊本県、有明海沿岸道路建設促進熊本県期成会の主催で行われ、来賓祝辞や鍬（くわ）入れなどが予定されている。

[【有明海沿岸道路】国道 208 号荒尾道路](#)